

医療支援船の実現に向けた課題

【日時】平成23年9月26日(月) 13:30～17:00

【会場】梅木Yホール 神戸市東灘区深江南町5-1-1
神戸大学 深江キャンパス 総合学術交流棟1階

趣旨

16年前の阪神大震災を経験した本学では、その後、透析医会への協力、及び近隣の船舶と連携するボランティアシップ構想など、災害時の船舶利用に関する研究が行われてきた。今般、東日本大震災を受け、党派を超える議員連盟が発足し、この問題に関する検討が始められている。これを受け、早稲田大学では、平時の利用を含めた医療支援船構想について検討され、本研究科もこれに協力してきた。一方、神戸市では、震災後の復興対策の一環として推進されてきた「医療産業都市構想」が進んでいる。

以上の流れから、研究科および学内、特に医学研究科との情報交換を行うとともに、「医療支援船」の実現のために必要な課題の整理について検討する。

プログラム

1. 開会挨拶

小田 啓二 神戸大学海事科学研究科長

2. 特別講演「国際健康医療貢献船構想」

浅野 茂隆 教授(早稲田大学)

3. 海事科学研究科における医療支援の研究

(1) 透析医会との連携

世良 亘 准教授(神戸大学海事科学研究科)

(2) ボランティアシップ構想

森重 萌木子 大学院生(神戸大学海事科学研究科)

石田 憲治 教授(神戸大学海事科学研究科)

(3) 医療支援船のモデル設計

若林 伸和 教授(神戸大学海事科学研究科)

4. 「支援船に搭載する医療設備について」

西 慎一 教授(神戸大学医学研究科)

5. 総合討論

参加費無料(事前申込不要)
一般参加も歓迎します



【深江丸見学】シンポジウム開催前、12:30～13:10まで、練習船深江丸を見学頂けます。

ご希望の方は、下記連絡先にFAX又はEメールでお申し込み下さい。

【懇親会】終了後懇親会を開催致します。

ご参加頂ける方は下記連絡先にFAX又はEメールでお申し込み下さい。

会費3,000円は当日徴収させて頂きます。

【お問い合わせ】神戸大学大学院海事科学研究科総務係
FAX 078-431-6355 TEL 078-431-6200
gmsc-soumu@office.kobe-u.ac.jp